

■ SSⅡキャンパスツアー ■

10月15日～16日の2日間、普通科2年生理系の生徒全員で東北大学工学部を訪問しました。これは、長岡高等学校のSSHの取組のひとつとして、本年度初めて実施したものです。『大学を訪問し、研究室見学および模擬授業の受講等により先端の科学・科学技術を体験することで、理工学系の学問への関心・自らの学ぶ意欲を高め、生徒ひとりひとりが進路を考える際の一助とする』ことを目的として実施しました。



では、2日間のようすを紹介します。

1日目>>>

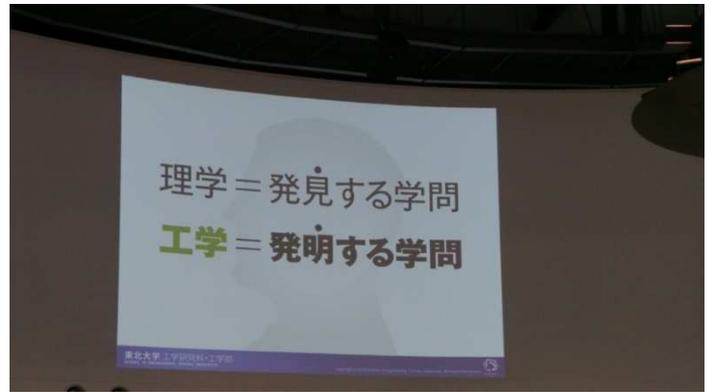
東北大学工学部到着

QSC（カタールサイエンスキャンパス）ホールにて模擬講義を受講

はじめに、中瀬博之 特任教授から開会の挨拶と東北大学工学部の紹介がありました。中瀬先生の

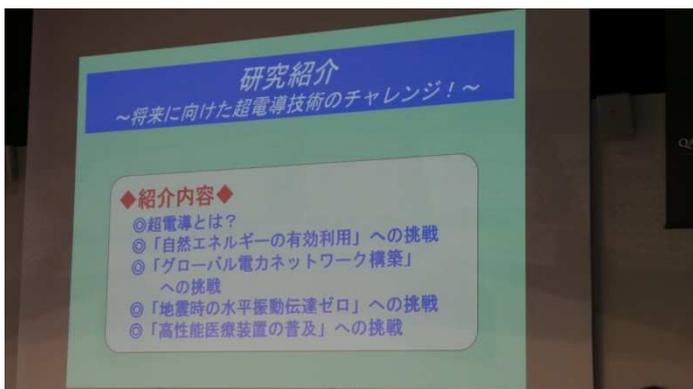
「創造性とは豊富な知識があって初めて発揮されるものです。なので、この模擬講義などさまざまな話を聞き、新しい知識をどんどん蓄積していってほしい。」

との言葉が印象に残りました。



模擬講義 1 情報知能システム総合学科 津田 理 教授

電気情報工学科（現・情報知能システム総合学科）の紹介
研究紹介（将来に向けた超電導技術のチャレンジ）



模擬講義2 機械知能・航空工学科 伊藤 悟 助教
核融合炉のしくみと革新的超電導コイル設計



模擬講義3 建築・社会環境工学科 井上 亮准教授（空間計画学）/五十嵐 太郎教授（都市・建築理論）
地理空間情報を通して地域の変遷を見る
窓から見る建築物



2日目>>>

グループに分かれて研究室見学

グループ1：機械知能・航空工学科，材料科学総合学科

グループ2：情報知能システム総合学科，建築・社会環境工学科



見学終了後は、学食などで各自昼食をとり、周辺を散策したりしました。売店で東北大学グッズをお土産に買っている生徒もいました。最後にクラスごとに写真を撮り、帰路につきました。



生徒の感想より>>>

私は物理を選択していないし、興味のある分野は栄養学や農学なので、キャンパスツアーに来るまで工学にはそれほど関心はありませんでした。しかし、プラズマが農業分野や環境・生物に活用されていることを知り、今までより科学技術に興味が出てきました。今までは大学進学について考えるときは家政学部、農学部しか見ていませんでしたが、もっと視野を広げて、色々な学部を調べてみようと思います。(女)

今まで、興味を持った分野でも狭い分野しか調べていなかったことがよく分かった。大学生、とくに大学院生を見ていて自分の好きなことについて文理関係なく限りなく深く学んでいこうとする姿勢を見てとてもすごいと思い、自分の勉強への考え方にも少し変化が起こるほど刺激を受けた。工学についてあまり興味を持ったことがなかったが、工学が社会にこんなに貢献することができる学問であるということがわかったし、おもしろかった。(女)

自分があまり興味をしめしていなかったものに触れておもしろいと思い、あらたに興味を持つようになったし、自分のやりたいことをもう一度確認することができた。(男)

高校の授業では学べないようなことがたくさんあり、とても充実した時間を過ごせたと思った。普段はなかなか入れない施設も見れてとても楽しかった。(男)

トップレベルの教育施設に行けて良かった。大学ならどこでもいいわけじゃないと思い知らされた。進路に関して、とてもいい刺激になった。(男)

実際大学で行われている講義を実際に体験することができ、こういった環境で勉強したいなと思えた。また、施設ではとてもいい設備の中で研究ができるので、モチベーションを保ちながら研究できるというところにあこがれた。現役の学生さんの真面目な姿を見て、かっこいいと思えて、自分もこのようになりたいと思えた。(男)

少し難しい分野もあったがどの学科の研究もとても現代的なものばかりで未来に必要な存在になりうるものや、過去の失敗や事故を繰り返さないために必要なものだったから。また、見たり実際に体験することで、その分野の面白さや奥深さを肌で感じることもできたので興味をもって学習することができた。まだ自分が本当に何をしたいのか決まっていなくて焦っていたが、今回の学習が参考になったので今後の学習を通じて見つけたい。(女)

自分の目指す医療系にあまりかわりがないと思っていたが、さまざまは科学技術とのかかわりがあることがわかったから。科学の進歩が医療の進歩につながっていることがわかったから。また、大学は少しでも設備や資金が良いところのほうがよりくわしく、自分の気になることを自由に調べることができ、より深い学習につながると改めて感じたから。(女)

私は工学部に入るつもりなので、このツアーが楽しみだった。実際に行ってみて、工学部について深く知ることができた。講義で自分がわからない世界の話を聞き、もっと知りたいと思うようになった。見学では、工学部の研究室を見て、おもしろそうなものがたくさんあるなと思い、早く、研究をしてみたいという気持ちにさせられた。(男)

科学が社会で担う役割や将来性などを聞き、関心を高めることができた。もともと興味のあったことも深く知ることができたので、進路に迷いはあるが、今後考える上でとても参考になった。(女)

自分の行きたい学科ではなかったが、研究していることに理解はできたし、それが実現する可能性もとても大きいのだと思った。研究をするためには、今、私たちが学んでいることが絶対に必要であることが痛いほど分かったので学習意義が一つできたような気がする。(女)

すごくおもしろかったしとても勉強になった。今まで全然工学に進みたいと思わなかったし、そんなに深く知らなかったけど、今回工学もいろいろな道があって、未来のための研究ができるのはすごいおもしろそうだなと思った。また、東北大学の良さもわかって。きれいでよかった。私も勉強がんばろうと本当に思った。(女)

工学部について興味はあったが、内容がよくわかっていなかったんだな、と実感しました。学科の違いや内容、その後どんな職に進んでいくのか、など多くのことが知れて、本当によかった。工学もおもしろい。他の大学も調べてみようと思いました。私の進路がまだはっきりしていないのは、もしかしたら、大学について具体的なことがよくわかっていなかったのかもしれないと思った。大学へ行きたいという気持ちもすごく強まったので、学習をがんばります。(女)

工学部だけの見学で、自分の進路には全く関係ないかと思っていたが、私は医学系を目指しているので、医工学関係の話には特に興味を持って聞くことができたし、それ以外の話でもおもしろく聞くことができた。また、今までオープンキャンパスには行きたいと思いながら、1つの大学にも参加できていなかったのが、大学というところをよく見ることができて、これから大学を見学する際の比べる対象もできて、東北大学というきれいな大学をよく見ることができてとてもよかった。(女)

工学部に行くとき聞いた時は、物理選択でない私にとってはあまり参考にならないのではないかと考えていましたが、実際行ってとても良い経験になりました。工学は幅広い分野で活躍することができ、生物学の分野でも工学の技術は必要不可欠であることを改めて実感しました。大学進学への意欲も高めることができ、とても良かったと思います。(女)

新たに学ぶことが本当にたくさんありました。そして、そこから考えることもすごく多くあった。東北大学の良さもわかって、すごくひかれた。今後の高校生活、そして進路においてもためになった。大学に行きたいと改めて思った。楽しかった。(女)

参加した生徒の多くが、進路意識や学習意欲が高まったという感想を述べていました。